

近畿測量専門学校 学校関係者評価委員会評価書

学校の教育目標

本校は 1969 年の設立以来 50 年以上にわたり、測量業界に多数の優秀な人材を輩出してきた。

卒業と同時に国家資格である「測量士補」を取得でき、さらに 2 年の実務経験を経ることで「測量士」になることができる。

測量士補は地図整備や都市計画、鉄道・電力など様々な分野において、全ての人が安心して生活していく上でなくてはならない技術を証明する国家資格のひとつである。

本校は今後も測量業界で必要とされ、活躍し続けることができる知識と経験を持つ人材を育成していく。

1. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 目的を意識させる。
2. 知識と技能を両立させる
3. 責任と根性をもたせる
4. 資格の価値観を高める

2. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

測量業界で必要とされ、活躍し続けることができる知識と経験を持つ人材を育成していく。

また測量士補としての資格の重要性と資格に恥じない人間形成に努める。

1-2 学校における職業教育の特色は何か

座学だけでなく、実践に近い実習や最新技術や器材の展示見学会やセミナーに参加することにより、人間形成を養い社会に通用する技術者を輩出するのが職業教育の特色である。

1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

昨今若手労働力の減少や後継者の不足等社会問題となっている。

そこで、業務の効率化を図る IT 化に期待が高まり、これらに対応できる若手技術者の育成が急務となっている。

これら社会のニーズに答えられるよう中長期計画を策定する。

1-4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に 周知されているか

1. 入学希望者
体験入学や学校説明会などで「学校案内」をもとに周知している。
2. 学生
年度初めにガイダンスを実施し「学生便覧」を配布し、内容を説明している。
3. 保護者
年2回学業成績を郵送し情報の共有をしている。
4. 関連企業
キャリアマップを通じて情報を共有している。

1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

1. 関係業界から求める人材像を聞き、就職活動する学生や社会に出る学生及び在校生に情報を共有し、教員とともにニーズに合った人材育成を目指している。
2. 教職員は率先して業界団体の役員になり常に業界で必要な人材情報で全職員に情報共有している。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題
特になし

② 今後の改善方策
特になし

③ 特記事項
特になし

(2) 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか

基本的運営方針は前述のように定めた、目的に沿った運営を推進している。

2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

基本的な運営方針に沿った運営計画書が作成され理事会で承認を得た後、教職員に周知徹底している。

2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか

毎年理事会が開催され記事録が全教職員に公開されており、理事側から補足説明が行われている。

2-4 人事、給与に関する規定等は整備されているか

就業規則が整備されており、時代に即わない場合は即座に変更する。

2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか

毎年理事会が開催され記事録が全教職員に公開されており、理事側から補足説明が行われている。

2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか

法令を厳守し関係者と連携・協力して地域社会の環境向上を図っている。

2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

教育に関する情報は「学校案内（パンフレット）」「募集要項」により周知している。

ホームページにおいて日々の授業情報や突起事項を案内している。

2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

学生や卒業生に対するサービス向上を目的に基幹システムにより事務手続きなどの効率化を図っており、入学前の資料請求・入学相談をはじめ、入学・在学中・卒業後の各種データは適切に一元管理している。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項
特になし

(3) 教育活動

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

学校の教育理念に沿った教育実施計画書を策定し、教育課程を編成している。

3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

十分過ぎる授業時間を確保している

3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

国土地理院が指定する科目以外で業界や時代のニーズに合ったカリキュラムを構成している。

3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

国土地理院が指定する科目以外で業界や時代のニーズに合ったカリキュラムを構成している。

3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等と連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

国土地理院の講義項目が指定されているのでその内容に合った授業を関連企業と提携している。

3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか

経験豊かな企業側の人材を講師に招き実践的な教育を行っている。

3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか

学生評価の一環として学生による授業アンケートを実施し、また管理職による授業評価と合わせ総合的に評価している。

3-8 職業教育に対する実施・評価体制はあるか

学生評価の一環として学生による授業アンケートを実施し、また管理職による授業評価と合わせ総合的に評価している

3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

履修規程に成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準を明記している。

3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

国土地理院より講義内容を指定されているので、規程に則たカリキュラムを実施している。

3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

教員は確保しているが中長期計画において人材確保に心がける。

3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか

関連団体や企業に働きかけている。

3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質行動のための取組が行われているか

関係団体が主催する講習会に参加するようにしている。

先進技術の展示会やセミナーに参加している。

3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか

関係団体が主催する講習会に参加するようにしている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修年年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等と連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質行動のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

教員の若返りを図るにおいては、国土地理院の教員規程がネックである。

- ② 今後の改善方策
早急に国土地理院規程の教員を育成し学校の若返りを図る。

- ③ 特記事項
測量法の改正が必要である。

(4) 学修成果

4-1 就職率の向上がはかられているか

就職指導より早い段階で希望を聞き適正な企業を紹介している。
進路の決まっていない学生にはその都度希望を聞いて紹介するようにしている。

4-2 資格取得率の向上が図られているか

本校は卒業と同時に測量士補を取得できる学校で有るので、全員が卒業できるようバックアップ体制を取っている。

4-3 退学率の低減が図られているか

退学者を出さないよう休みの多い学生には夏や冬の長期休みに日数の穴埋めをし、成績が芳しくない学生には補講をし、卒業して資格を取れるようバックアップしている。

4-4 卒業生、在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか

卒業生には南極越冬隊に参加した者や技術者として表彰してもらった者がいる。
在校生は卒業時に（公社）日本測量協会会長賞や（一財）日本測量教育センター会長賞そして全国工業専門学校協会会長賞を受賞している。

4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

卒業生の働きにより企業の協力を得て、近況を在校生へ講和してもらい在校生が進路を決める要因そして社会での心構えを教わる。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上がはかられているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生、在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

- ① 課題
特になし

- ② 今後の改善方策
近況を気軽の報告してもらえ学校にすることにより、在校生への講和をしてもら
う卒業生を増やす。

- ③ 特記事項
特になし

(5) 学生支援

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

就職指導と担任のサポートにより学生支援を行っている。

本校はキャリアマップのサイトを利用している。学生が 24 時間求人閲覧で
きるので、就職活動が早くなった。

5-2 学生相談に関する体制は整備されているか

就職指導や担任が相談にのり的確な判断を下す体制を取っている。

5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

支援体制は次のとおりである。

1. 日本学生支援機構（情報測量学科のみ）
2. 教育訓練給付金・支援金（測量専門学科のみ）
3. 特待生度（選考結果により授業料を最大 100%免除）
4. 国の教育ローン（日本政策金融公庫による融資制度）
5. 学費サポートプラン（オリエントコーポレーションが提供したクレジッ
ト会社）

5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

毎年 4 月に教職員・学生を対象に外部医療センターの健康診断を実施し全員
の既往症等を把握している。

5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか

校外学習や通学時等事故にも対応できる学生保険に加入している。

5-6 学生の生活環境への支援は行われているか

入学と同時に学生保険に全員加入しているので事故が発生した場合担任を通
じて速やかに手続きを行う。

5-7 保護者と適切に連携しているか

無断欠席が 3 日になれば担任より保護者へ連絡を入れ状況を説明してい
る。

年 2 回成績表を保護者宛に郵送しており、疑問があれば保護者から連絡が
入る。

5-8 卒業生への支援体制はあるか

同窓会総会・懇親会が毎年開催され 200 名以上の参加が有り縦や横の繋
がりやを堅固にしている。

卒業生の転職にも親身に相談にのっている。

5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

1年制学科の7割は社会人で構成されている。
社会人に合った整備がされていると思う。

5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

連携は行っていないが、出前授業を率先して行っているので依頼があれば依頼校のニーズに合ったメニューを実施する。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

担任が学生の相談を受けているが、専門のカウンセラーが必要ではないか。

② 今後の改善方策

外部にカウンセリングを依頼しているが早急な対応するにはカウンセラーを常勤で雇う必要がある。

③ 特記事項

特になし

(6) 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

十分とは言えないが対応できるよう整備されている。
消防設備も法律に基づき定期点検を実施している。
AEDも設置しており取扱いについて講習を実施している。

6-2 学内外の実施施設、インターンシップ、海外研修棟について十分な教育体制を整備しているか

実習は広大な範囲と長期にわたり実施するため、公共施設（河川・公園）を使用させていただいている。

6-3 防災に対する体制は整備されているか

- 1.自衛消防隊を組織し、迅速な対応が出来るよう備えている。
また、消防計画書を所轄消防署へ提出してご協力を得る体制を取っている。
- 2.自然災害への対応
台風等により通学が困難になった場合は学校ホームページ及びグループ Line で連絡を取り周知徹底を図る。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実施設、インターンシップ、海外研修棟について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

課外授業で災害が発生した場合の対応が不明確である。

② 今後の改善方策

課外授業における防災マニュアルをを作成する。

③ 特記事項

特になし

(7) 学生の受入れ募集

7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか
近隣（中・四国・近畿）高校（土木系）への情報提供をしている。

7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
広報部が中心に企画・運営し進路相談会や会場説明会および高校訪問を実施している。

7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
資格取得においては測量法に記載されている通りで、その他の分については学校案内やホームページに掲載している。

7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか
学校納入金（入学金・授業料・維持費・施設費・実習費）の見直しを行い令和7年度生より改定を行う。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

物価上昇に伴う物品及び光熱費の値上がりにすぐ対処できない。
場合によっては学則変更に伴い2年先の対応となる。

② 今後の改善方策

中長期の計画において学校納入金の見直しを検討する。

③ 特記事項

特になし

(8) 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

本校は財務基盤の充実をと強化・安定に重点を置いている。
施設には不足はなく教育設備は定期的に入れ替えを行っている。
経費支出については施設設備や光熱費の高騰人件費の増加する要因はあるが合理的な支出を心掛けている。

8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

資金収支計算書、事業活動収支計算、貸借対照表が主要な計算書類であり財務分析を行い主要指標を比較している。

8-3 財務について会計監査が適正に行われているか

本法人では寄付行為に基づき選任された外部監事が会計監査を実施している。

8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

学園本部で作成した主要な計算書類をホームページで公開している。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

① 課題

入学者の減少に伴う収入減において支出を合理的に進めていけるかが問題である。

② 今後の改善方策

企業と行政及び同種学校が協力して若人に働きかけ興味をもってもらう。

③ 特記事項

これから先永遠の課題である。

(9) 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

本校は専修学校設置基準及び国土交通省国土地理院の養成施設登録校として法の基準を厳守し適切な学校運営に努めている。

9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

個人情報の取り扱いについては学校法人創真総合技術学園の「個人情報取り扱い」を厳守している。

9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

1. 教育理念・目標・人材育成像
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学習成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の受け入れ募集
8. 財務
9. 法令等の元首
10. 社会貢献・地域貢献

9-4 自己評価結果を公開しているか

令和6年度より学校評価結果をホームページにて公開し、広く閲覧できるようにする。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

① 課題

測量法が令和7年に改正されるので対応できるように努力する。

② 今後の改善方策

令和6年度分より自己評価を公開できるようにする。

③ 特記事項

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

献血活動を年2回実施し日本赤十字社に協力している。

その他以下のような講習会を実施している。

1. 受託講習（団体対象講習会）
2. 受験対策講座（測量士・測量士補受験対策講座）
3. 在校者対象講習（小型建設機械講習・3級陸地特殊無線技士資格講習・UAV操縦講習）
- 4.

10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

ボランティア活動を奨励している。

10-3 地域に対する公開講座。教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか

地域に対する公開講座や教育訓練は実施する意向であるが、本校学生への教授で手一杯である

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座。教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

教職員の人手不足のため学生以外に手が回らないの現状である。

② 今後の改善方策

教員がゆとりある講義ができるようになれば、地域に対する公開講座や教育訓練を受託できる体制が整うよう教職員の補充を行う。

③ 特記事項

人材確保の難しさを痛感している。